

心象スケッチ論 —童話と『春と修羅』—

The theory of “Shinsyo-sukecchi”
—Fairy tale and “Haru to syura”—

桐生 夏実
Natsumi Kiryu

大妻女子大学大学院 人間文化研究科 言語文化専攻 修士課程

キーワード：宮沢賢治，心象スケッチ，童話
Key words : Kenji Miyazawa, “Shinsyo-sukecchi”, Fairy tale

1. 研究目的

心象スケッチとは宮沢賢治の造語であり，世間では「詩」というジャンルで認識されている。賢治は「心象スケッチ集」として『春と修羅』を出版しているが，童話集である『注文の多い料理店』の広告チラシにおいても「これらの心象スケッチを世間に提供するものである」と記しており，詩も童話もともに心象スケッチと呼んでいることがわかっていいる。心象スケッチが「童話」として描かれている場合の特徴と，世間における「詩」として描かれている場合の特徴を比較し，その差異を調査することを目的とする。また，それを踏まえて『春と修羅』『春と修羅第二集』『春と修羅第三集』その他未収録スケッチの草稿や推敲課程から童話の特徴を持つ心象スケッチを研究し，『春と修羅』における〈詩中の童話〉が果たしている役割を明らかにする。

2. 研究実施内容

まず，宮沢賢治における「童話」「詩」「心象スケッチ」の定義を，世間における「童話」「詩」の定義と比較しながら確認した。

次に，世間における「詩」として『春と修羅』に収録されている「心象スケッチ」の特徴をまとめた。それを踏まえ，宮沢賢治にとっての「心象スケッチ」は何を指すのか，先行論文から調査を行い，その定義を再確認した。

再確認した「心象スケッチ」の定義に基づき，『春と修羅』から〈詩中の童話〉を取り上げ，「心象スケッチ」と呼ばれるものの可能性を広げることへとつなげ，草稿や推敲課程からその役割を明らかにする。

3. まとめと今後の課題

世間では「童話」の定義として『日本国語大辞典』では「児童文学の一ジャンルで，民間に継承されていたお伽話や英雄譚，伝説，説話，寓話などを含む」ものだといわれており，「詩」は「文芸様式の一つ。韻文。」との記載がある。一方，賢治のいう「童話」とは童話集『注文の多い料理店』の広告チラシによると①舞台がドリームランドとしての岩手県であるイーハトーヴであるもの②あらゆることが可能になるといふ非現実的な性格を持っているものであるといえる。また「詩」について「農民芸術」や「労農詩三論三講」のメモから，魂や心から湧いてくるものとしていたといえる。賢治の造語である「心象スケッチ」の定義として『宮沢賢治イーハトーヴ学事典』では「歩行のあいだには回想も訪れ，空想も羽ばたき，思索も巡らす。そのような意識内の現象の一切の記録が「心象スケッチ」と名づけられるといつてよい」とされている。また『春と修羅』の「序」において「風景やこころの明滅を，そのとおりに記録したもの」というふうに定義づけること

もできるという結果となった。

これらを踏まえ『春と修羅』を分析すると「童話」としての「心象スケッチ」の特徴として①「夢」の出現がある②全文が心象スケッチであるとはいえない③色彩豊かな描写がある④綺麗なものが描写されている⑤読み終えた読者にとって資糧となるメッセージをふくんでいるものであるといえる。一方、世間における「詩」として『春と修羅』に収録されているといえる心象スケッチは①群として主題を持つ②主題に沿った役割を持っている③表現に対する細かいこだわりがみられる④現場性を保持しているといえる。また『春と修羅』における「童話」は「真空溶媒」「東岩手火山」「小岩井農場」章「青森挽歌」「青森挽歌三」「九九〔鉄道線路と国鉄が〕」であるのではないかと考える。

「東岩手火山」は、『春と修羅』収録以前に、「心象スケッチ外輪山」という題で「岩手毎日新聞」に発表されており、同項に童話「やまなし」も掲載されていたことが分かっている。

「東岩手火山」の草稿、九～十五行目からは、『春と修羅』に収録されている本文では二重鍵括弧で記されている箇所が、『春と修羅』収録以前に発表された形態では鍵括弧で記されており、話文であったことがわかる。これは童話の性格を持っている心象スケッチであるといえる。童話「やまなし」と同時期に発表されていることから、童話への意識が高いものだと考えられる。

今後は「真空溶媒」「小岩井農場」章「青森挽歌」「青森挽歌三」「九九〔鉄道線路と国鉄が〕」を、草稿や推敲課程をもとに細かく分析することをおもな課題とする。また、賢治にまつわる最新の精神分析学を参考に、心象スケッチについて考えを深める。

付記

本研究は大妻女子大学人間生活文化研究所の令和6年度大学院生研究助成（課題番号 DB2413）「心象スケッチ論—童話と『春と修羅』—」を受けたものです。